

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
「パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、2023年7月
19日をもちまして繰上償還いたしました。当ファンドは
株価指数先物取引や債券先物取引等の値動きのある資産
等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な
成長を目指しました。また、(為替ヘッジあり)は、実質
組入れの外貨建て資産について原則として為替ヘッジを
行いました。(為替ヘッジなし)は、原則として為替
ヘッジを行いませんでした。ここに、運用状況および
償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の状況

(為替ヘッジあり)

償還価額	(当期末)	7,153円64銭
純資産総額	(当期末)	0.7百万円
騰落率	(当期)	0.1%
分配金合計	(当期)	0円

(為替ヘッジなし)

償還価額	(当期末)	10,113円32銭
純資産総額	(当期末)	1百万円
騰落率	(当期)	11.8%
分配金合計	(当期)	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算して
います。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)
に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨
を定めております。右記<お問い合わせ先>ホーム
ページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」
から当ファンドのファンド名称を選択することにより、
当ファンドのページにおいて運用報告書(全体版)
を閲覧およびダウンロードすることができます。
運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付
されます。運用報告書(全体版)をご請求される方は、
販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書 繰上償還

パインブリッジ・ デイリー・ミックス・ オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

第5期

(2023年3月30日～2023年7月19日)
第5期(償還日:2023年7月19日)



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号 / 03-5208-5858

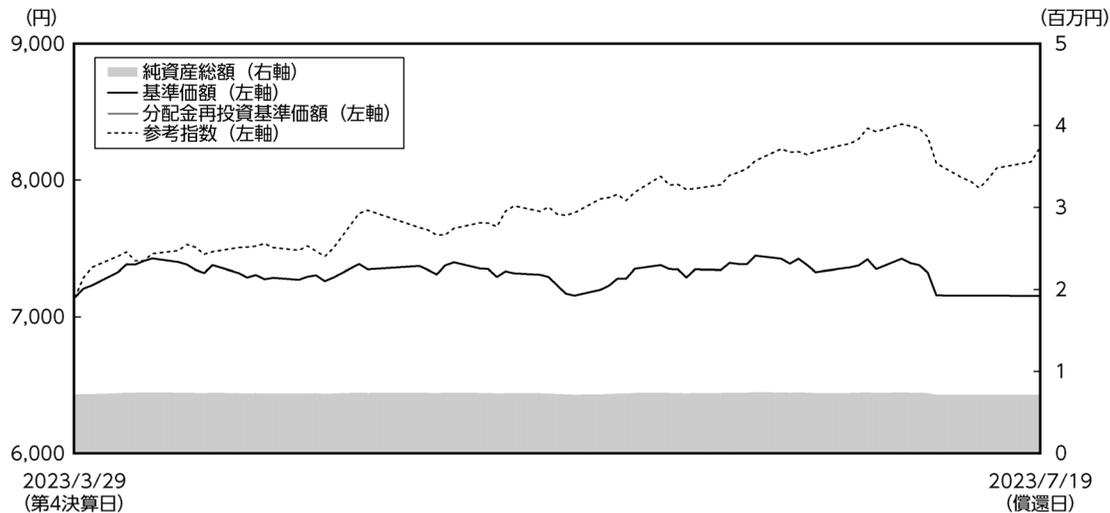
(受付時間 / 9:00～17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ / <https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2023年3月30日～2023年7月19日)

基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



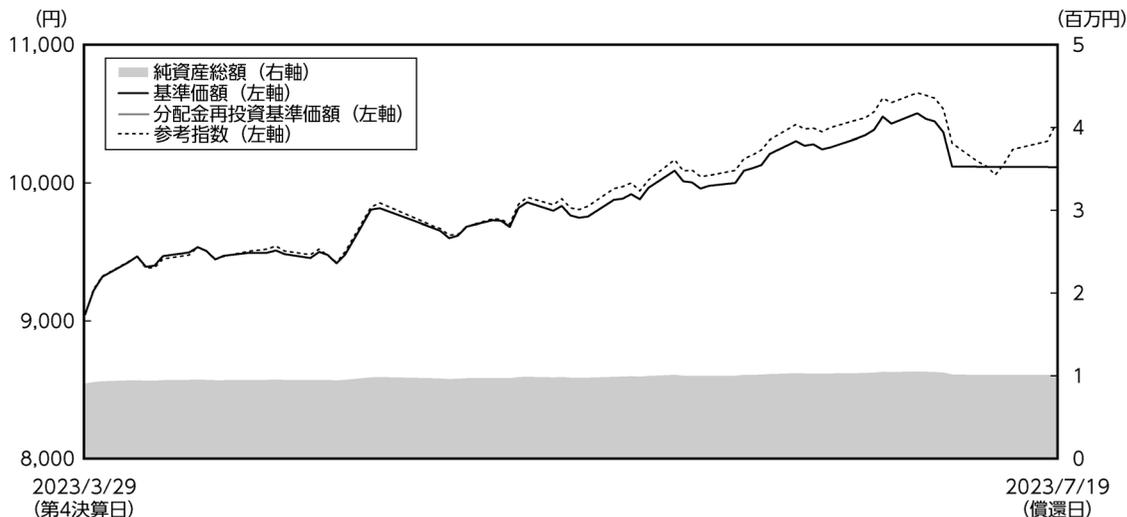
第 5 期 首 : 7,143円
償 還 日 : 7,153円64銭
(作成対象期間中の既払分配金 : 0円)
騰 落 率 : 0.1% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数(円換算)です。期首の基準価額をもとに指数化しています。

<為替ヘッジなし>



第 5 期 首 : 9,047円
 償 還 日 : 10,113円32銭
 (作成対象期間中の既払分配金 : 0円)
 騰 落 率 : 11.8% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<為替ヘッジあり>

基準価額は期首対比で僅かに上昇しました。当ファンドの投資対象である「VLグローバルバランスマザーファンド」は現地通貨ベースの期首対比で上昇しましたが、為替ヘッジコスト等のマイナス要因が響きました。

<為替ヘッジなし>

基準価額は期首対比で上昇しました。当ファンドの投資対象である「VLグローバルバランスマザーファンド」が現地通貨ベースの期首対比で上昇しました。また為替において円安米ドル高で推移したことにより、円換算ベースの基準価額も期首対比で上昇しました。

<マザーファンド>

基準価額は期首対比で上昇しました。組入先物に関しては、株式では米国株式が大きくプラスに寄与した他、日本株式や欧州株式もプラスに寄与しました。一方、米国債券や欧州債券、そして英国株式がマイナス寄与となりましたが、米国株式の寄与が基準価額上昇の牽引役となりました。また為替において円安米ドル高で推移したことにより、円換算ベースの基準価額も期首対比で上昇しました。

1万口当たりの費用明細

<為替ヘッジあり>

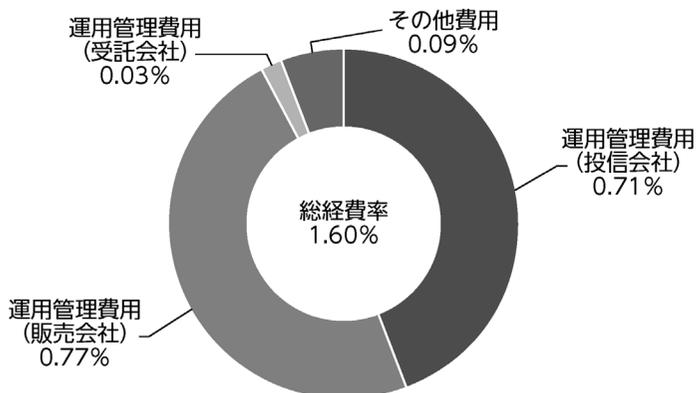
項 目	第5期 (2023.3.30~2023.7.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	34円	0.465%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,286円です。
(投信会社)	(16)	(0.219)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(17)	(0.236)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.025	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(2)	(0.022)	
その他費用	2	0.027	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(印刷)	(2)	(0.022)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	証拠金利息
合 計	38円	0.517%	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.60%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<為替ヘッジなし>

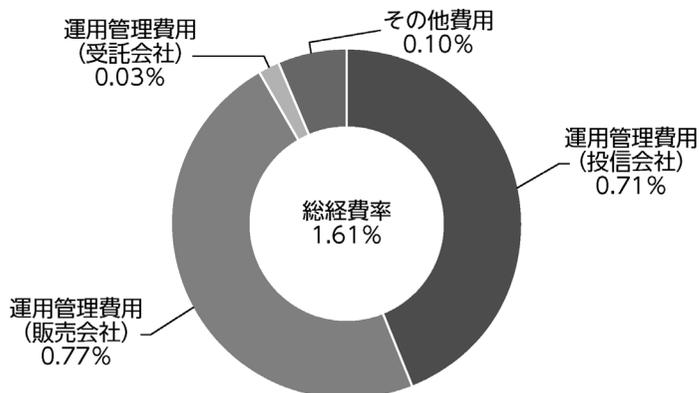
項 目	第5期 (2023.3.30~2023.7.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	45円	0.465%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,787円です。
(投信会社)	(21)	(0.219)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(23)	(0.236)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.025	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(2)	(0.022)	
その他費用	3	0.030	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(印刷)	(2)	(0.025)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	証拠金利息
合 計	50円	0.520%	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

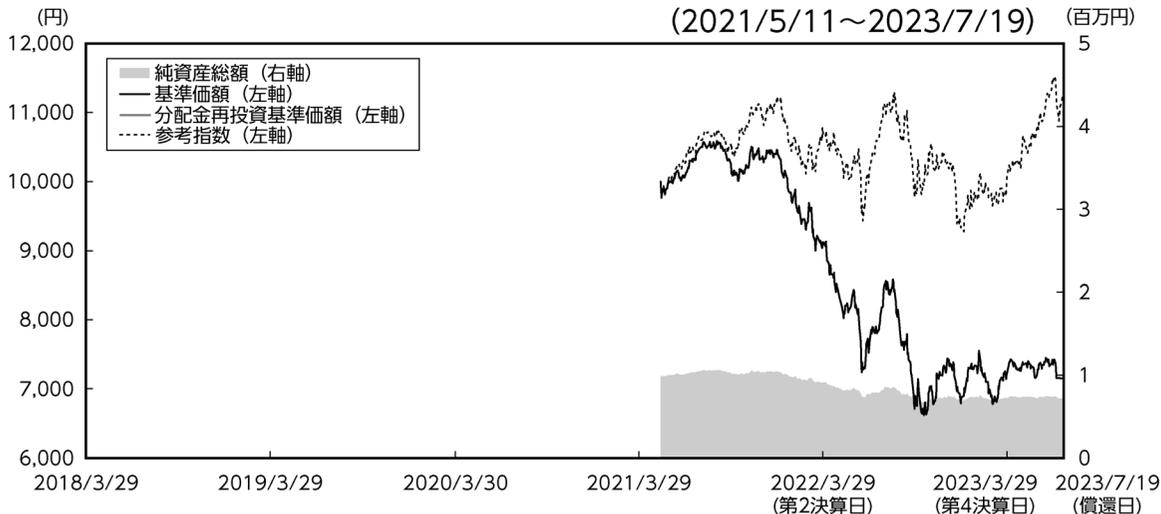
※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

				2022/3/29 決算日	2023/3/29 決算日	2023/7/19 償還日
基準価額	(円)			9,058	7,143	7,153.64
期間分配金合計（税込み）	(円)			0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)			△9.4	△21.1	0.1
参考指数の騰落率	(%)			7.9	△9.3	15.3
純資産総額	(百万円)			0.9	0.7	0.7

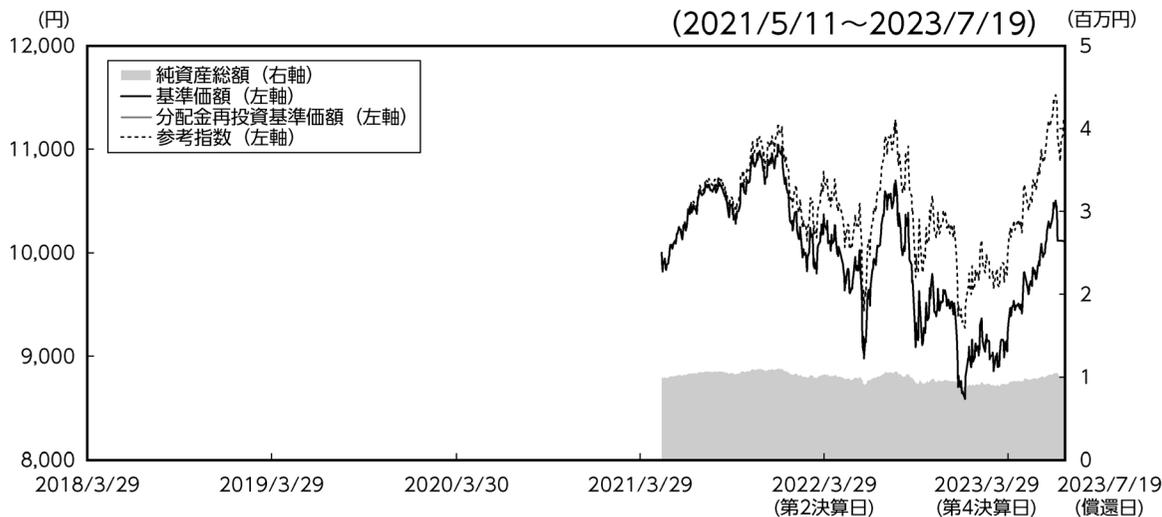
※2022/3/29決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

※2023/7/19償還日の騰落率は、2023/3/29との比較を表示しています。

●参考指数に関して

参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。

<為替ヘッジなし>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。
 ※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

				2022/3/29 決算日	2023/3/29 決算日	2023/7/19 償還日
基準価額	(円)			10,369	9,047	10,113.32
期間分配金合計（税込み）	(円)			0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)			3.7	△12.7	11.8
参考指数の騰落率	(%)			7.9	△9.3	15.3
純資産総額	(百万円)			1	0.9	1

※2022/3/29決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。
 ※2023/7/19償還日の騰落率は、2023/3/29との比較を表示しています。

投資環境について

米国株式は上昇しました。金融引き締めが5月を最後に様子見となったことで終焉観測が高まった他、雇用や個人消費を中心とした米国経済の堅調さが相俟って、景気のソフトランディング（緩やかな景気減速）期待が高まりました。また欧州株式も上昇しました。米国株式の上昇に連れ高しましたが、景気回復が遅れている中国依存度の高さや、5月に続いて6月も追加利上げを行ったこと等から上昇率は米国株式に比して限定的となりました。英国株式はほぼ変わらずとなりました。英国のインフレは、欧米同様の要因にユーロ離脱という固有要因が加わっており、6月には5月を上回る利上げ幅で追加引き締めを行ったことが響きました。一方、日本株式は上昇しました。日銀の金融緩和政策の継続とそれに伴う主要通貨に対する円安が企業業績の追い風となった他、米著名投資家の日本株投資表明、更には企業のガバナンス改革期待と好材料が横溢しました。

米国長期金利は小幅に上昇しました。景気減速懸念が高まる中、5月の金融引き締め後に一旦様子見となったことで低下しましたが、6月期限に向けて米政府の債務上限問題が嫌気され、上昇に転じました。債務上限問題は無事に通過しましたが、金融引き締めの終焉観測が徐々に高まったことや、雇用や個人消費を中心とした米国経済の堅調さにより、景気のソフトランディング期待が高まると景気回復期待の側面から一段と上昇しました。その後は金融引き締めの継続見通しとそれに伴う景気減速懸念、そして景気回復期待が混在する状況となる中、やや上昇幅を縮小して期末を迎えました。

ドイツ長期金利は小幅に上昇しました。4月にかけては好調な経済指標により、ECB（欧州中央銀行）の金融引き締めスタンスが継続されるとの見方から上昇しました。その後、経済依存度の高い中国の景気回復が遅れる中での追加利上げによって景気減速懸念が高まると低下しました。そうした中でECBは5月に続いて6月も追加利上げを行い、また見通しにおいても金融引き締めスタンスを強調した為、再び上昇に転じました。しかし7月に入るとECBメンバーから景気に配慮したハト派的なコメントが目立ち始め、やや上昇幅を縮小して期末を迎えました。

米ドル円は期を通して円安米ドル高となりました。米国のインフレ抑制目的の金融引き締め政策と、日銀の金融緩和政策を背景に日米金利差が拡大したことが主な背景となりました。

ポートフォリオについて

<為替ヘッジあり>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2023年7月19日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2023年7月19日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

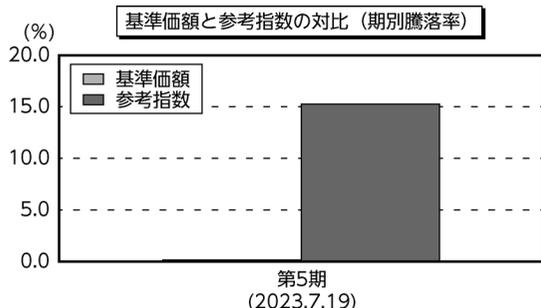
<マザーファンド>

リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指しました。

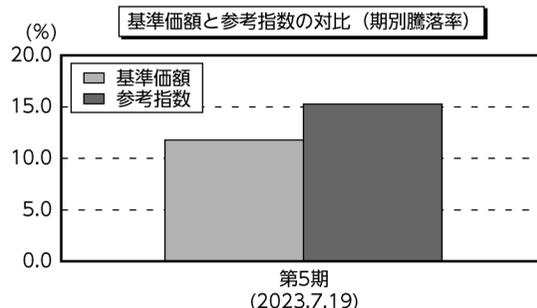
ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



お知らせ

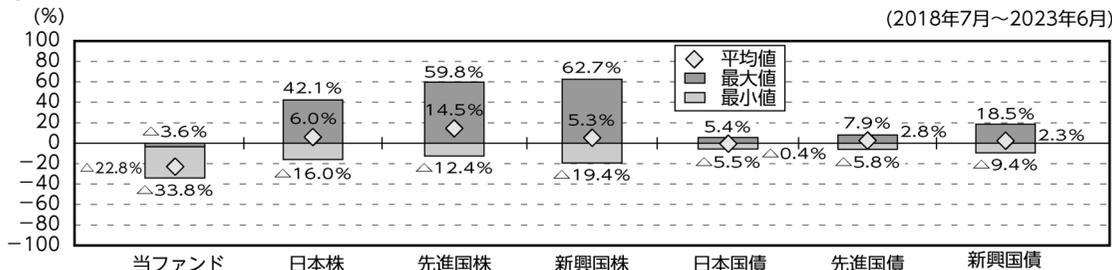
当ファンドは2023年7月19日をもって投資信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）することといたしました。

当ファンドの概要

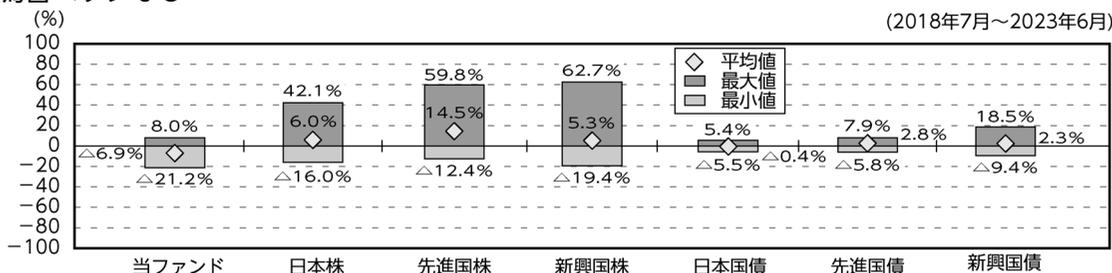
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2021年5月11日から2023年7月19日（当初2031年4月30日）まで	
運用方針	<p>・「V L グローバルバランスマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）」への投資を通じて、リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20％程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指します。</p> <p>・参照指数は、先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。</p> <p><為替ヘッジあり></p> <p>・実質組入れの外資建資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替ヘッジを行います。</p> <p><為替ヘッジなし></p> <p>・実質組入れの外資建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	<為替ヘッジあり>	マザーファンドを主要投資対象とします。
	<為替ヘッジなし>	マザーファンド
運用方法	<為替ヘッジあり>	先進国株式の株価指数先物と先進国債券の債券先物を主要投資対象とします。また米国短期国債に投資する投資信託証券や米国株式指数のプット・オプションにも投資を行います。なお、株式、公社債、短期金融資産に直接投資することもできます。
	<為替ヘッジなし>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・マザーファンド以外の投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
分配方針	年2回（3月29日および9月29日、休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報>代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2018年7月～2023年6月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2021年5月11日設定のため、2022年5月から2023年6月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、J P Xが有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2023年7月19日現在）

<為替ヘッジあり>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第5期末
	2023年7月19日
純資産総額	715,364円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり償還価額	7,153円64銭

※当期間（第5期）中における追加設定元本額は0円、解約元本額は0円です。

<為替ヘッジなし>

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第5期末
	2023年7月19日
純資産総額	1,011,332円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり償還価額	10,113円32銭

※当期間（第5期）中における追加設定元本額は0円、解約元本額は0円です。

組入ファンドの概要

VLグローバルバランスマザーファンドの組入資産の内容（2023年3月29日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	16円
(投資信託証券)	(2)
(先物・オプション)	(14)
その他費用	7
(保管費用)	(1)
(その他)	(6)
合計	23円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については3~4ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●現物資産上位銘柄

（組入銘柄数：1銘柄）

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BOND	投資証券	米国	米国ドル	60.0

●派生商品上位銘柄

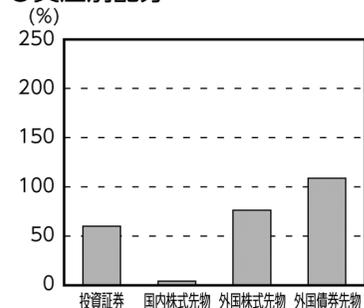
（組入銘柄数：6銘柄）

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
S&P500種指数先物	株式先物（買建）	米国	米国ドル	60.4
ドイツ10年国債先物	債券先物（買建）	ドイツ	ユーロ	54.7
米国10年国債先物	債券先物（買建）	米国	米国ドル	54.4
EURO STOXX50指数先物	株式先物（買建）	ドイツ	ユーロ	12.1
日経225先物	株式先物（買建）	日本	日本円	4.0
FTSE100指数先物	株式先物（買建）	米国	英国ポンド	4.0

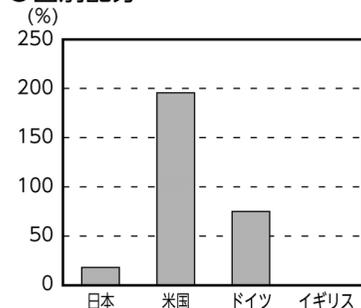
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

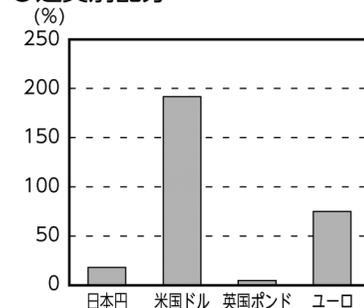
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。